



# マクロ処理とマクロ管理

## ● 処理の保存

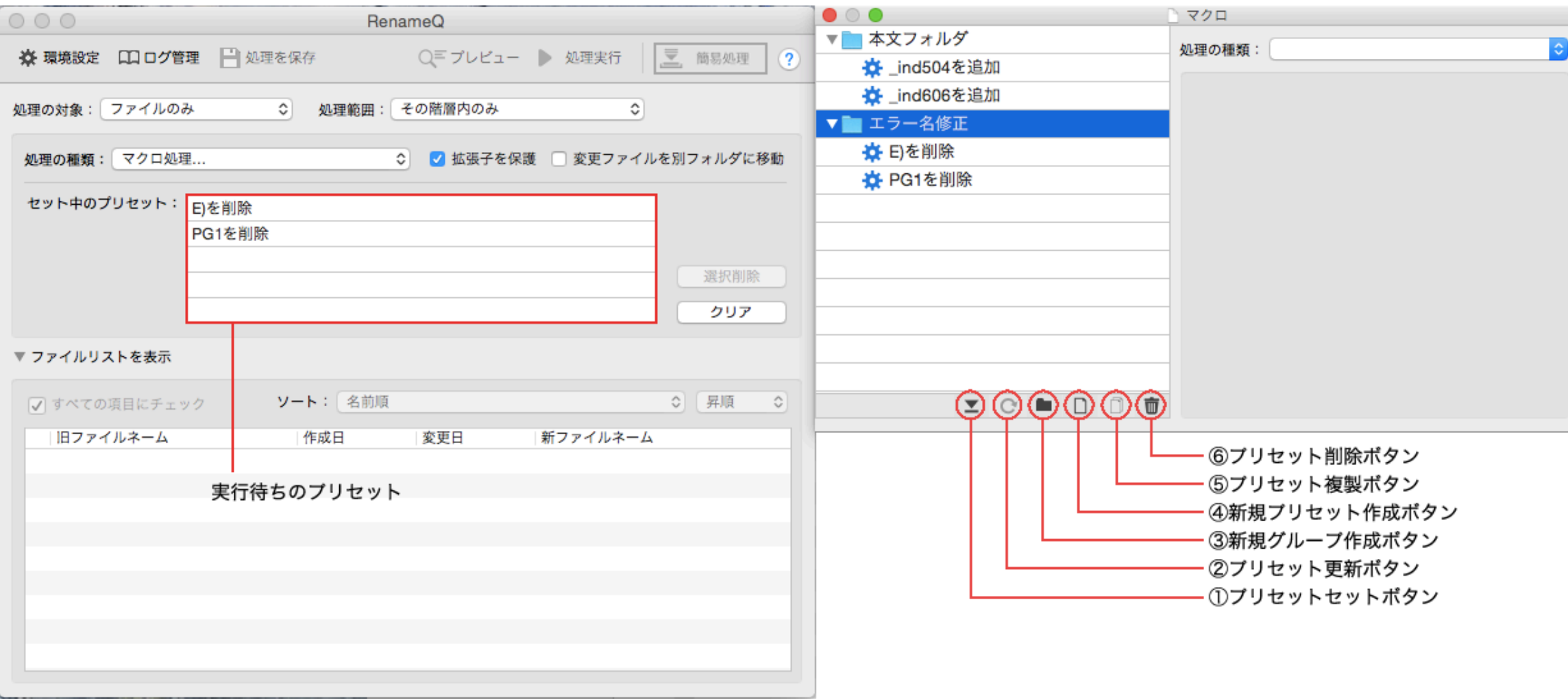


RenameQでは、通常の処理内容を入力した際にその内容をプリセットとして登録しておき、一連の命令群マクロとして再利用することができます。プリセットはメイン画面で処理を設定後に上部の「処理を保存」ボタンを押して作成します。入力内容に問題がなければ、プリセット名を入力するためのダイアログが出てきますので、既存のプリセットと重複のないように名前をつけて登録してください。重複があった場合は警告が出ますので、上書くか別名で保存するかを選択してください。

プリセットの作成は、マクロパネル表示中にパネルから行うこともできます。パネルからの作成方法についてはマクロの管理・新規プリセットの作成を参照ください。

## ● マクロの管理

マクロの整理・削除等の管理はすべてマクロパネルから行います。ドローメニューの「マクロ」→「マクロパネルを表示（command + M）」で表示するか、ポップアップメニュー「処理の種類」から「マクロ処理...」を選択します。



### ・新規プリセットの作成

新規プリセットの作成はメイン画面の「処理の保存」から行うほか、マクロパネルからできます。マクロパネルのプリセットリスト下の「新規プリセット」ボタン（図④）を押すか、ドローメニュー「マクロ」→「新規プリセット（command + N）」を選択してください。空のプリセット「名称未設定」が作成されます。作成したプリセットは後からでもリスト内でドラッグアンドドロップすることで、自由に移動することが可能ですが、作成の前にあらかじめリスト内の項目を選択しておく、グループを選択している場合はそのセット内に、プリセットを選択している場合は選択されたプリセットと同階層に、新規プリセットを作成します。

マクロパネルから新規作成したばかりのプリセットは内容を持たない空のプリセットです。名称を変更するにはリストで選択してカーソルが上にある状態で少しの間待つか、enterキーを押せば、名称が編集状態になりますので、その状態で入力を行ってください。

内容を登録するには、次のプリセットの更新を参照してください。

マクロパネルからプリセットの作成や複製を行う場合、同プリセットを複数登録することができます。例えば別のグループに同じプリセットを入れておく、といったことができるわけです。ただし、同じ名前が違う内容のプリセットを作成することはできません。プリセットの内容を変更した際、同名のプリセットが存在する場合はそちらの内容も更新されますのでご注意ください。

### ・プリセットの更新

既存のプリセットの内容を変更する時やマクロパネルから新規作成した空のプリセットの内容を登録する際には、更新するプリセットをリスト上で選択し、パネル右側で処理内容を入力あるいは変更してから、「プリセットを更新」ボタン（図②）を押すかドローメニュー「マクロ」→「プリセットを更新」を選択してください。更新する前は内容の入力はできますが、確定はしていません。そのまま別の作業をした場合は入力内容は破棄されてしまいます。入力後は必ず更新したうえで次の作業に移ってください。 内容の入力の仕方は通常の処理入力と変わりません。不明点は基本操作を参照してください。また、新規プリセットの作成で触れたように、更新の際に同名のプリセットが存在した場合は、そちらの内容も同様に更新されます。詳しくは新規プリセットの作成を参照ください。

## ・新規プリセットグループの作成

プリセットをまとめるためのグループを作成します。作成に制限はありません。グループの中にさらに別のグループを内包することもできます。

作成には、「新規グループ作成」ボタン（図③）を押すか、ドローメニュー「マクロ」→「新規プリセットグループ作成（command + G）」を選択してください。作成したグループは後からでもリスト内でドラッグアンドドロップすることで、自由に移動することが可能ですが、作成の前にあらかじめリスト内の項目を選択しておく、グループを選択している場合はそのセット内に、プリセットを選択している場合は選択されたプリセットと同階層に、新規グループを作成します。

## ・プリセットの複製

既存のプリセットを複製します。複製したいプリセットをリスト上でひとつ選択し、プリセット複製ボタン（図⑤）を押すか、ドローメニュー「マクロ」→「プリセットを複製（Command + D）」を選択してください。リストの末尾の一番上の階層に選択されたプリセット名に「のコピー」の文字が付加された複製を作成します。複製後はほかのプリセット同様に自由に名称や内容の変更、移動ができます。

## ・プリセットの削除

プリセット・グループの削除を行います。削除したいプリセットやグループを選択して「プリセット削除」ボタンを押すか、ドローメニュー「マクロ」→「プリセットを削除（command + delete）」を選択してください。グループを選択している場合は内包されたプリセットも削除します。

# ● マクロ処理の実行

マクロパネルから使用したいプリセットを実行待ちのプリセットリストにセットします。  
パネル上で使用したいプリセットやプリセットグループを選択し、「プリセットセット」ボタン（図①）を押すか、ドローメニュー「マクロ」→「プリセット実行リストにセット」を選択してください。プリセットを選択している場合は選択中のプリセットが、グループを選択している場合は内包するすべてのプリセットが実行待ちリストにセットされます。

実行待ちリストからプリセットを削除したい場合は、削除したいプリセットを選択して右隣の「選択削除」ボタンを押すか、ドローメニュー「マクロ」→「セット中のプリセットを選択削除（command + delete）」を選択してください。リスト内をすべて削除したい場合は「クリア」ボタンを押すか、ドローメニュー「マクロ」→「セット中のプリセットを全削除」を選択します。

セットの順番を調整したい場合はリスト内で項目を任意の場所へドラッグアンドドロップしてください。  
以上までが、処理実行までの準備です。以降はほかの処理を実行する時と同様に、ファイルリストで実行結果のプレビューを確認する場合はファイルリストに対象ファイルをドラッグアンドドロップでセットし、「プレビュー」ボタンを押して新ファイル名を確認後、「処理を実行」ボタンを押してください。結果の確認が必要ない場合はファイルリストを閉じて「簡易処理」ボタンに対象ファイルをドラッグアンドドロップしてください。

# ● マクロデータの書き出しと読み込み

作成したプリセットはxmlデータとして書き出して保存しておいたり、別のマシンで使っているRenameQで読み込んで利用したりすることができます。書き出したいプリセットをマクロパネル上のリストでひとつ選択して、ドローメニュー「マクロ」→「プリセットの書き出し...」を選択してください。書き出し場所を設定するためのパネルが表示されますので書き出し先と名称を設定して保存してください。

読み込みの際はドローメニュー「マクロ」→「プリセットの読み込み...」を選択して、読み込みたいプリセットデータを選択してください。あらかじめ、マクロパネルのリストでグループを選択しておけば、その階層内にプリセットを読み込むこともできます。